

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

平成23年9月号

編 集

発 行 人

武田 隆久

〒102-8414 東京都千代田区一番町13-3

社団法人 日本病院会 通信教育課

TEL 03-5215-6647 (受講生専用)

FAX 03-5215-6648 (受講生専用)

URL <http://www.jha-e.com/>

受付時間

9:00~17:00
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)

発行日

毎月1日

定 価

1部 150円 1カ年1,600円(送料共)

郵便振替

00190-5-396045

名 義

社団法人 日本病院会 通信教育部

「第37回日本診療情報管理学会学術大会開催」のご案内

吉田 晃治

(医) 松籟会 介護老人保健施設 ケアハイツ虹施設長
第37回日本診療情報管理学会 学術大会長

東日本大震災で被災されました方々へ心から御見舞い申し上げますと共に、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

この度、23年9月29日(木)~30日(金)に第37回診療情報管理学会を福岡国際会議場で開催させていただくことになり、日本病院会、日本診療情報管理学会の皆様へ心から感謝致しますと共に、実り多い学術大会となりますようお願いしております。

診療情報・診療録のあり方は医療・福祉・介護の質や経済性をも直接左右し、医療システム推進の根幹をなすものが、ITの推進と考えております。IT化は業務負担の軽減・効率化、医療の透明化・標準化・安心・信頼など医療の質向上、情報のネット化など無限の拡がりを示して来ています。

益々発展するITの流れの中で要となるのが診療情報管理士と考え、メインテーマを「IT時代における診療情報の位置づけと診療情報管理士の役割」と致しました。次に

特別講演Ⅰ：「ヒューマンエラーと情報管理」

特別講演Ⅱ：「韓国における診療情報システム……u-healthとITの観点から……」

大会長講演：「診療録記載と医療従事者の役割」

シンポジウムⅠ：「IT化時代に診療情報管理士は何を担うか：チーム医療の中で拡大を続ける診療情報管理」

シンポジウムⅡ：「DPCのデータ精度改善とデータ活用」

シンポジウムⅢ：「東日本大震災の被災地における診療情報管理」

シンポジウムⅣ：「死亡診断書の精度向上：厚生労働科学研究事業の結果を踏まえて」

一般演題：全て口演(228題)

生涯教育：「クリニカルインディケーターと診療情報管理士との関わり」(2日目お昼)

と致しました。

最後に学会前日午後「特別企画」として診療情報が急速に拡大・発展する中、将来の『金の卵の育成』と『診療情報管理のキーマン』となり、将来学会を支え、育てて行かれるであろう若い世代へ、「夢と希望」の育成のため、診療情報関連の各認定大学・専門学校等を中心に勉強会(一般演題・シンポジウム)を開催致します。当日は関係者以外の方も無料で参加できますのでお待ちしております。

さらに、会員の皆様方が心待ちしておられる懇親会は、質は落とさず従来より低料金にて、玄海灘の魚、博多名物のラーメン、九州の焼酎を提供し、アトラクション等を盛大に実施し、歓迎致します。

また、今学会は九州の診療情報管理に対する熱い思いを込めて『九州全支部主催』と致しました。一人でも多くの方々の御参加を心からお待ちしております。